

Magazine of
Nakamura
Alternative Life

vol.127
2023.AUGUST

CELERY



花
ひ
ら
け。
。



世界に踏み出す勇気と好奇心を応援！
海外留学プログラム

食も社会も世界も。
ナカムラの知の源
先輩に会いたい

財務情報
NEWS&TOPICS

ナカムラのひと

食も社会も世界も。

That makes sense!

今回
教えてくれたのは



短期大学部 幼児保育学科
福丸 奈津子 准教授

Profile

鹿児島で小学校教諭として勤務。広島大学大学院教育学研究科後期博士課程単位取得退学(心理学)。2017年4月より福岡こども短期大学にて講師、准教授。2021年4月より福岡女子短期大学 こども学科 講師、准教授として勤めた後、2022年4月より現職。研究分野は教育心理学、発達心理学。

Q. インクルーシブ保育・教育とはどういうものですか。

A. 人々の多様なあり方を互いに認め合える共生社会を目指し、幼児児童生徒に行う保育・教育です。

インクルーシブには、包容する、排除しないなどの意味があります。違いを認め合い、協力し合い、尊重し合える全員参加型社会ー共生社会を見据え、子どもたちに共生の感覚が自然に根付くように的確な指導を提供していくものです。障がいの有無を前提せず、人種、性的などの少数派も含め対象は全ての子どもたち。少数派を多数派に合わせる、少数派を支援するという考え方はありません。個々に優れた面があったり苦手とすることがあったり、一人ひとりが異なっていることを踏まえ、そのニーズに応じた保育・教育を行います。

Q. インクルーシブ保育では、どういったことをしているのですか。

A. 子どもたちが安心してできる環境を整え、子どもたちが一つの尺度に縛られないものの方や考え方ができるように導いていきます。

環境整備においては、医療ケアが必要な園への看護師の配置、障がいのある子どもがいる園への保育者の増員、外国籍の子どもにも言葉や学ばず時間を設けるなどの取り組みをしています。そもそもインクルーシブ保育は特別な活動とは捉えず、日常的に子どもの価値観が偏らないようにすることなどを大切にしています。例えば絵を描くのがとても遅い子には「もっと早くやりなさい」ではなく、「丁寧に仕上げているんだね」。一人ひとりを尊重した視点で声がけし、その場にいる子どもたちに多様な良さを認める感受性が養われるようにしていきます。

テーマ

「インクルーシブ保育・教育」



Q. インクルーシブ保育のメリットを教えてください。

A. みんなが幸せな世の中になるはずですし、よりよい社会を築き、持続させることができます。

究極的には「みんなが幸せ。みんなが生きやすい」世界になるでしょう。インクルーシブ保育によって、共に生きる文化の中で育った子どもが大人になった時、より良い社会を創る担い手になってくれるはずで、それはその子の次の世代にも引き継がれ持続していきます。今、自分の子どもにもしかしたら障がいがあるのではないかと、気に病んでいる保護者の方がいるかもしれませんが、ですが障がいの有無で分ける必要性がないインクルーシブ保育が浸透すれば、障がいの有無など気にしなくてもよくなります。大事なはこの子に何が必要か、何に幸せを感じているかなどに目を向けることです。

Q. インクルーシブに関して多くの人に伝えたいことは何ですか。

A. インクルーシブの本質はシンプルです。今すぐ誰もがでることから広がって大きな輪になります。

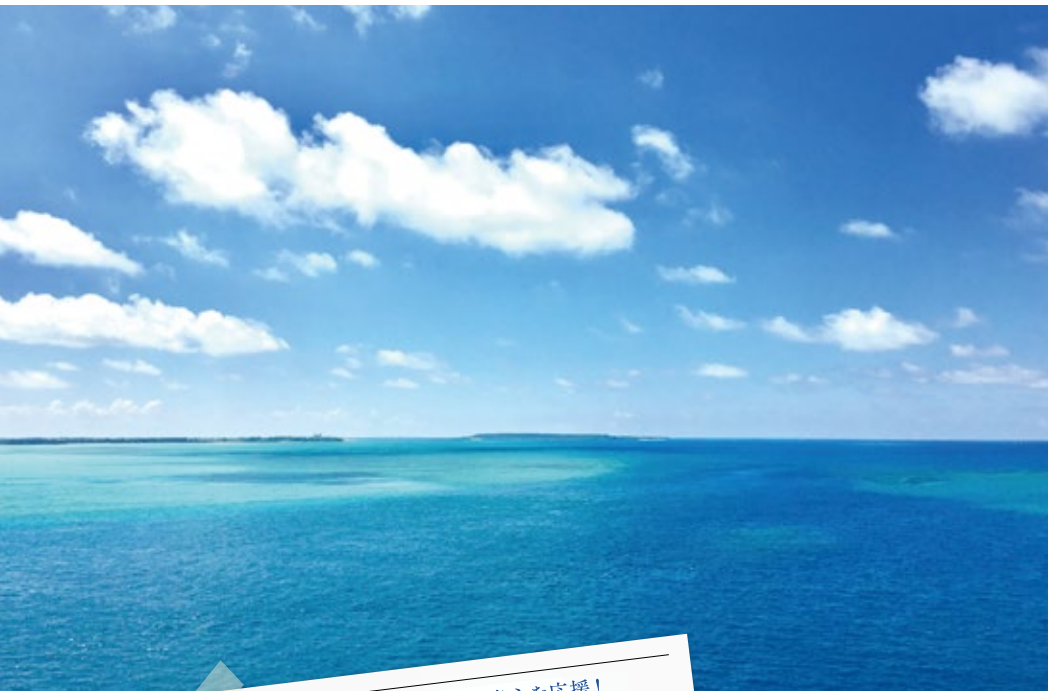
インクルーシブと聞くと専門用語のようで難しく感じるかもしれませんが、本質はとてもシンプルです。家族や親しい友人も街で偶然会った人も、みんな違いがあると理解し、尊重し合ひましよう。それは、保育や教育の専門家でなくても、自分や相手の年齢も関係なく、今すぐ誰にでもできることです。みんなで共生社会を創造していきたいですね。また、互いに理解し合うために、私はこういうことが好きじゃないとか、こうしてくれたらうれしいとか、自分から相手に伝えることも大事にしてください。



Nakamura × SDGs

本学の取り組みはこちら▶





まだ見ぬ自分に、
会いに行こう！

*Let's go meet the self
I don't know yet*

世界に踏み出す勇気と好奇心を応援！ ナカムラの海外留学プログラム

- P2・・・長期・短期プログラム一覧&国際国協定校一覧
P3-4・・・学生インタビュー「語学のほかにもたくさんの学び」
P5・・・短期プログラム&外部プログラム紹介

ナカムラから世界へ
留学ガイドブック



長期プログラム *Long-term study abroad*

N-HALプログラム 【対象】全学部

海外留学スカラーシッププログラム※ 【対象】流通科学部

食のスペシャリストを目指す！ダブルディグリー留学プログラム

【対象】栄養科学部 フード・マネジメント学科

※海外留学スカラーシッププログラムは、2024年度よりN-HALプログラムに統合される予定です。

短期プログラム *Short-term study abroad*

海外研修 【対象】全学部

国際交流研修in韓国 【対象】全学部

台湾協定校研修 【対象】全学部

フード・ビジネス展開のための海外食文化研修

【対象】栄養科学部 フード・マネジメント学科

海外フードビジネス研修 【対象】栄養科学部 フード・マネジメント学科

グローバルプロジェクト 【対象】流通科学部

海外体験報告会

6月29日、学内の長期・短期留学プログラムを利用して留学をした学生たちの前学期海外体験報告会が開催されました。会場には80名近くの学生が集まり、留学に対する興味・関心の高さがうかがえます。P3～4では長期プログラムで留学した学生に、留学での学びをインタビューしています。



6/29には
報告会が
行われました

協定校一覧(2023年3月)

アメリカ 合衆国	ボストン大学医学部/マサチューセッツ州ボストン	中華人民 共和国	上海中医药大学/上海	大韓民国	釜山大学校/貿易学部/釜山
	ハワイ大学 マノア校/ハワイ州ホノルル		遼寧中医学職業技術学院/遼寧省沈阳		江原大学校/江原道春川
	ハワイ大学 カピオラニ・コミュニティ・カレッジ/ハワイ州ホノルル		中国人民大学 商学院/北京		東元大学校/京畿道広州
	ハワイ大学 リーワード校/ハワイ州パールシティ		盤錦職業技術学院/遼寧省盤錦		全北大学校/全羅道全州市
	デラウェア大学/デラウェア州ニューアーク		華東師範大学/上海		レスバティインドネシア大学/ジャカルタ
カナダ	グアム大学/アメリカ グアム	台湾	浙江樹人大学/浙江省	インドネシア	イエジン農業大学/ネビドー
	サイモンフレイザー大学/ブリティッシュコロンビア州バンクーバー		美和科技大学/屏東県内埔鄉美和村		トゥルク応用科学大学/トゥルク市
ブラジル	ミナス・ジェライス連邦大学/ミナス・ジェライス州ベロオリゾンテ		崇仁医療管理専門学校/嘉義	フィンランド	タイ国政府コンベンション& エキシビションビューロー*
オーストラリア	スウィンバン工科大学/ビクトリア州メルボルン		玄奘大学/新竹		
			長榮大学/台南	タイ	

*タイ国内の大学62校、専門学校44校



「日韓の化粧品(コスメ)のデザインとマーケティングの比較」をテーマに研究し、韓国コスメブランドをイメージした作品を制作。



気の置けない仲間とカフェタイム。留学中の友達は一生涯の宝物。



実習先の幼稚園では、子どもの表現力を大切にしていた保育をしていたそうです。



幼稚園での実習が終わる時に子どもたちが書いてくれた絵とメッセージ。

2 海外留学スカラーシッププログラム

流通科学部流通科学科4年

下瀬 乃愛さん

【留学期間】2022年2月～12月

【留学先】漢陽大学校 語学堂(=私費 2月～8月)
全北大学校(9月～12月)

人生の中で最もハードに勉強

私は海外留学スカラーシッププログラムに、留学生対象の語学学校「語学堂」への私費留学を組み合わせました。そもそも韓国留学を志望したのは、大好きなK-POPアイドルが話している内容を字幕なしで理解したいと強く思ったからです。留学前にYouTubeや語学交流アプリなどを利用して、独学で2年間みっちり韓国語を勉強しました。

韓国では、まず、語学堂で6ヶ月韓国語に磨きをかけて、全北大学校へ。以前から興味があったデザイン分野に挑戦したくて産業デザイン学科を専攻しました。3Dソフトを使ったモデリング(模型作成)などは私にとって未知の世界。しかも入学した9月は後学期で、基礎は前学期で終わっており、応用の内容でした。専門用語も難解で途方に迷いました。

でも、ここで踏ん張らないと留学した意味がないと一念発起。YouTubeのチュートリアル動画で研究するなど、それまでで最も必死で勉強し、2ヶ月後には課題を先生にほめていただけるまでになりました。

視界は広がり精神的に強く

留学して、新しい知識を得たことはもちろん、視野が確実に広がったと感じます。韓国人はもとより、世界各地から来ている留学生などいろんな人と交流する中で、人種や文化が違ってみんな同じ人間で愛すべき存在なのだ気づきました。デザインの勉強も頑張り、途中でコロナに感染するという試練も乗り越え、精神的に強くなったとも実感しています。

今では韓国の方が話していることを丸ごと理解できます。就職活動でも韓国留学の経験をアピールすることができ、語学関係の企業に内定をいただきました。

これから留学する人へ

とにかく、積極的に行動することが大切!たくさん挑戦して失敗も成功も含めかけがえのない経験に満ちた留学にしてください。

1 N-HALプログラム

教育学部児童幼児教育学科2年

岡本 あさひさん

【留学期間】2022年7月～2023年3月

【留学先】トゥルク応用科学大学
(フィンランド)

教育先進国のフィンランドへ

海外の教育に興味があったことと、教員になった時に子どもたちに使える英語を教えたいと思ったことが留学した大きな理由です。自然の豊かさにも惹かれ教育先進国であるフィンランドに行きました。フィンランドは英語が通じ大学では英語で行う授業も多いです。留学先は理工系の大学ですが、フィンランドの教育学を学べる学科がありました。

留学前には有料オンライン英会話レッスン「ベストティーチャー」を利用したり、TOEICの勉強をして語学力を磨きました。実際に留学してから感じたのは、自分が学ぶ教育分野の専門用語を英語でもっと学んでおけばよかったということです。

深く心に刻まれた幼稚園実習

大学の授業では、フィンランドの特別支援教育の手厚さや一人ひとりの子どもを尊重した教育を行っていることなどを知ることができました。またアプリを制作するプロジェクトで留学生と学部生を交えたグループワークにも取り組みました。

特に貴重な経験になったのが、幼稚園での2ヶ月間の実習です。子どもたちはまだ英語を使えずフィンランド語を話すので、私と言葉は通じません。でもお互いに表情やジェスチャーで気持ちを伝えることができ、コミュニケーションは言語だけでないと感じられました。また小学校など教育施設の見学では、教員が個々の裁量で授業計画を作成するなど、日本との違いが見えて刺激になりました。

留学をして日常会話に不自由ないくらいに英語は上達しました。帰国後も英検1級、TOEIC800点を目指し勉強に力を入れています。今後はワーキングホリデーに行き、さらに視野を広め語学力を高めたいと考えています。

これから留学する人へ

海外だからこそできることや触れられる多様な価値観があります。留学したら自分から行動を。時間はすぐ過ぎてしまいます。



インターンシップではケータリングのお手伝いもして、料理の盛り付けやセッティングなども担当。



シアトルのフィリピン料理店のオーナーや同僚と一緒に遊びに行く機会も多く、シアトル生活を満喫した水口さん。



ボランティア活動の調理作業で、KCCのアレン・ツチャマシェフに指導を受けている岡崎さん。



水口さんたち仲間と共にKCCの卒業式で。「先生や友達に恵まれ幸せだった」と話します。

4

ダブルディグリー留学プログラム

栄養科学部フード・マネジメント学科4年 【留学期間】2021年8月～2022年8月

水口 あすか さん

【留 学 先】ハワイ大学

カピオラニ コミュニティカレッジ(KCC)

フィリピン料理の魅力にはまった

栄養科学部への進学を目指していた高校時代、オープンキャンパスでダブルディグリー留学制度利用第一号の先輩の話を聞いて感動し、その時点で入学後は自分もハワイ大学に留学しようと決めていました。応募するにはTOEIC650以上という条件があるので、ラーニングサポートセンターを利用し過去問を解くなど、猛勉強してクリアしました。

KCCの充実した料理プログラムの中でも、特に感銘を受けたのがシアトル(ワシントン州)から来校したシェフが教えてくれたフィリピン料理です。フィリピン料理の個性の豊かさと奥深さを初めて知り、食の多様性に改めて気づきました。インターンシップはこのシェフがシアトルで経営するフィリピン料理店へ。食材の準備、ソースやデザート作り、盛り付け、接客サービス、ケータリングのお手伝い等さまざまな体験をすることができました。

日本と外国との架け橋になりたい

留学中は様々な人と接する機会が多く、文化の違いを受け入れる柔軟性が養われたと感じます。ハワイでもシアトルでもホームステイをしましたが、外国人のルームメイトやホストファミリーと日常生活を共にすることは、異文化を受け入れる近道になったと感じました。留学ではホームステイをおすすめしたいです。

留学をしているいろんな国と日本を結ぶ仕事がしたいと考えるようになりました。就職活動に励んで貿易関連団体に内定をいただくことができました。新たな語学の修得も視野に入れつつ、現在はTOEIC900点を目標に英語の勉強に注力しています。

これから留学する人へ

留学するか迷っているなら、絶対に得るものがあり人生が変わるから、ぜひ、踏み出して。私は行く前と後では描く未来が変わりました。

3

ダブルディグリー留学プログラム

栄養科学部フード・マネジメント学科4年 【留学期間】2021年8月～2022年8月

岡崎 有里子 さん

【留 学 先】ハワイ大学

カピオラニ コミュニティカレッジ(KCC)

多彩な料理を臨場感あふれる授業で

高校時代から英語の修得を目的に留学したいと思っていて、大学に入ってTOEICなどの勉強を始めました。ダブルディグリープログラムの提携先であるハワイ大学(以下、KCC)のシェフが本学で開催したデモンストレーションに参加して楽しかったので、語学も料理も学べるこのプログラムに決めました。

KCCでは製パン・製菓、アメリカ料理、アジア料理、ホテルのおもてなし料理などを実践的に学び、レストランでのインターンシップも経験しました。コロナ禍でしたが料理の授業は幸運にも対面で行われました。著名なシェフが厳しさの中にも学生とコミュニケーションを取りながらにぎやかに指導を進めていくスタイルに魅力を感じました。またハワイの文化などを学びながら、エッセイを書くという授業も受けました。

もともと、人と関わるのが好きな私は、世界各国の留学生や学部生や先生などとふれあいがより楽しく英語や料理の勉強ができたかなと思います。

ハワイでより一層オープンマインドに

現地の料理コンテストへの参加、フードフェスティバル等の開催ボランティア、ホストファミリーとの日々の交流と、KCCのプログラム以外でも留学したからこそ体験がたくさんできました。

留学で得た大きなものは、語学力や料理スキル、コミュニケーション力はもちろん、ハワイの人たちに息づくウエルカムなアロハ精神に感化され、よりオープンになった自分です。帰国後はTOEIC860点を目指し勉強に励んでいます。また留学の経験を活かすことができる、海外事業を展開している企業に内定をいただきました。

2023年6月KCCのシェフによる
ハワイ料理教室が開催されました

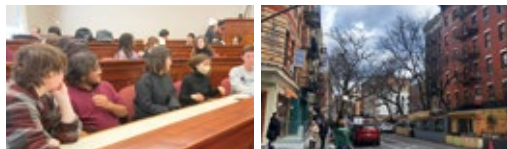


これから留学する人へ

留学して机上の勉強が全てではないと実感しました。ハワイの人はフレンドリーなので、安心して気構えずに行ってください。

海外研修

ホームステイをしながら、春または夏に3週間程度、アメリカもしくはオーストラリアの協定校の語学学校に通います。午前中は語学研修、午後はフィールドワークを行います。この研修のための事前・事後研修に参加することで、単位も修得できます。海外文化への理解を深め、英語を実践的に活用できる絶好の機会です。



5

教育学部児童幼児教育学科3年 【留学期間】2023年2月下旬～3月中旬
高崎 愛さん 【留学先】アメリカ

留学を体験してみよう

生きた英語を学べるほか、日本とは異なる文化を肌で知ることができ新鮮で充実した3週間でした。いつか長期の留学をしたいと思っています。この研修で留学のイメージをつかむことができました。

スタートアップ研修 in 韓国

協定校である東元大学校との文化交流を通し、積極的に外国人とコミュニケーションがとれる人材になるための基礎を学ぶ8日間の研修プログラムです。プログラムには、東元大学校での学生との交流のほか、現地の企業訪問などもあり、国際的なビジネスの現状を知る事ができます。滞在中には韓国人の家庭でのホームステイ体験もあり、生の韓国語・文化に触れることができます。



6

短期大学部キャリア開発学科2年 【留学期間】2023年3月下旬
菅 愛優さん 【留学先】韓国

海外を体験してみよう

今回の研修では、韓国の歴史的建造物の見学や文化体験を通して韓国の歴史・文化を深く学ぶことができました。短い時間だからこそ自ら積極的に動くことが重要だと実感しました。研修で出会った韓国人の友人と交流を深めるため、韓国語の勉強を継続したいです。



7

短期大学部キャリア開発学科2年 【留学期間】2023年3月下旬
井手 一花さん 【留学先】韓国

海外を体験してみよう

短期の研修なので、あまり身構えずに参加することができました。韓国の文化を直接見たり、学生と交流したりして、韓国がより身近になりました。

外部プログラムを活用しての留学もアリ！

トビタテ！留学JAPAN

文部科学省が所管する国費留学プログラムで、2020年までに日本人留学生を倍増するという政府の目標のもと、将来のグローバルリーダーの育成、また、自らの留学経験を通して培う能力を日本社会に還元してもらうことを目的に創設された海外留学の奨学金制度です。



本学からは、これまでに12名の学生が採択され、アメリカやイギリス、オーストラリア、フランス、中国など各国に留学しています。

Comment

デンマークのさまざまな機関で、「食を通して多様性を認める社会に」をテーマにいろんな学修や実践活動をしました。

8

トビタテ！留学JAPAN 第14期

栄養科学科4年 【留学期間】2022年3月～2023年2月
古賀 杏花さん 【留学先】デンマーク

トビタテ！
留学JAPAN



官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～留学テーマ一覧（2023年2月現在）

学生の所属学科	期	留学テーマ	留学先	留学期間 (奨学金支給月数)
キャリア開発学科	2期	スポーツを通じて世界をひとつに。 平和外交のプロフェッショナルになる！	中国	2015/9/1～2016/1/31 (5ヵ月)
キャリア開発学科	3期	お年寄りから子供まで！ 感動・笑顔に誘う、ホスピタリティになる！	アメリカ	2015/10/5～2016/10/15 (12ヵ月)
児童幼児教育学科	4期	「中村の中村」がラクロスワールドカップの日本代表になるために海外武者修行をする ～日の丸を背負った小学校の先生になる～	アメリカ オーストラリア	2016/4/1～2018/3/31 (24ヵ月)
流通科学科	4期	ベビーマザーズのプロフェッショナルになる！！ ～世界中の赤ちゃん・ママ・パパを笑顔に～	イギリス	2016/8/22～2017/9/29 (13ヵ月)
栄養科学科	6期	「アメリカ型一汁三菜Bento」開発プロジェクト！ ～「一汁三菜」の無形文化遺産登録を目指して～	アメリカ	2017/6/26～2018/2/24 (8ヵ月)
栄養科学科	8期	食事で日本のがんを食い止める！ ～食で防ぐ、食で治す時代へ～	アメリカ	2018/6/24～2019/3/28 (9ヵ月)
児童幼児教育学科	8期	誰もが自分らしく暮らせる日本を目指して ～2020年東京オリンピックバトンリレーをスタートラインに～	イギリス	2018/10/3～2019/4/1 (6ヵ月)
流通科学科	10期	日本の観光業の未来を担う人材に ～オーストラリアから学ぶ環境保全と観光問題を未然に防ぐ方法～	オーストラリア	2019/8/12～2020/1/8 (5ヵ月)
栄養科学科	11期	栄養士ならではの「食」をアプローチする広告創り 「更なるフードビジネスの飛躍へ」	フランス	2020/3/9～2021/2/1 (11ヵ月)
栄養科学科	14期	食を通して多様性を認める社会に デンマークの多様性から学ぶ	デンマーク	2022/3/31～2023/2/16 (11ヵ月)
キャリア開発学科	14期	フードロス削減にチャレンジする為の武者修行 ～オーストラリアへ～	オーストラリア	2022/9/10～2022/11/10 (2ヵ月)
フード・マネジメント学科	14期	私が変わる！ 日本の食品ロス・過剰包装問題	オーストラリア	2023/2/3～2023/3/31 (2ヵ月)

先輩に会いたい

OB・OG
interview
vol.23

卒業後は本学栄養科学科で
助手を2年間務め、今年4月から
東京大学大学院の修士課程へ。
新たな一步を踏み出した
須賀瑞希さんに、今、学んでいることや
研究テーマなどについて伺いました。

栄養科学部 栄養科学科
令和3(2021)年3月卒業

須賀 瑞希さん

東京大学大学院 医学系研究科
公共健康医学専攻

有意義に過ごした4年間 ゼミでの学びで多様な視点

もともと食に興味があり、管理栄養士の資格取得に実績のあるナカムラを選びました。教科ごとに真にプロフェッショナルな先生が指導してくださり、国家試験のサポートは手厚く、教職員の方はみんな学生本位で優しくて。振り返ればナカムラに入って良かったことばかり思い浮かびません。

荻本 逸郎先生のゼミで学んだことも大きかったです。健康は栄養面に限らず医学や社会学、経済学や歴史なども交えて多様な視点を持つことが大事だと気づかせていただきました。大学院で公衆衛生学を学びたいと考えた時、先生がお持ちだった学位、MPH(Master of Public Health)を自分も取りたいという気持ちが強く、MPHが取得できる東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻への進学を目指しました。

恵まれた環境で猛勉強中 博士課程まで進みたい

公共健康医学専攻では、入学して半年間は公衆衛生に関わる学問や英語や統計学など幅広い分野を学びます。今、その真っ最中でスケジュールはぎっしり。課題の量も多く、毎日10時間以上は大学にいます。大変ではあるものの、各分野の重鎮の先生方に直接教わる環境で学業に励むことができ楽しいです。

今後、研究室に入り修士論文に取り組むことになりますが、日本人特有の「若年女性の痩せ」や、健康・栄養情報の質について興味があります。博士課程進学や留学も考えており、ずっと研究を続けていきたいと思っています。

多様なバックグラウンドを持つ同期約40人の中で管理栄養士は私だけ。それは大きな強みになっています。ナカムラの後輩には「人との違いを気にするのではなく、それを自分の強みとして存分に活かしてほしい」と伝えたいです。



「大学院の受験勉強では特に英語と小論文に注力しました。たくさんの方にサポートしていただいたので、私も同じ志を持つ後輩の役に立ちたいです」と須賀さん。

どんな研究に取り組まれているのですか。

専門は食料や農業の経済学で、中でもメー
ンは畜産分野です。大学院で、家畜の不可食
部分や骨を肉骨粉や油脂に加工するレンダリ
ング産業についての研究を始めたのがこの分
野に関わる出発点となりました。リサイクルに
関する代表的先進国のドイツに留学もして、
食のリサイクルと安全をどう統合させるかを
テーマに追究しました。

日本で食にまつわる安全が浸透してきた近
年は、担い手不足など厳しい畜産の情勢に視
点を置いています。着目しているのは非農業分
野から畜産業に参入する農業経営体と地域
振興の関係です。最近では、企業が飼料生産、
家畜飼養から食肉加工、販売、流通まで、畜
産業を統合して経営する「インテグレーション」
について研究を深めています。

現場主義に徹し、JAや農家の方に聞き取
り調査もよく行いますが、農業者から見ると
農業外からの参入は好意的には受け入れ難い
面があるのも確か。しかしインテグレーションは
新たな雇用創出や農業生産の向上など地域
への貢献が大きく、新規参入者を仲間として
受け入れ共に地域振興を目指していくのが得
策だと考えています。また参入した多くの企
業は、人や環境や地域などに配慮した「エシカ
ル消費」に対応した取り組みをしているという
側面にも注目すべきというのが私の見解です。

ゼミの特徴についてお聞かせ
ください。

ゼミの研究テーマは食品流通や食料経済で
す。概して都市部出身の学生が多いこともあ
り、まず現場を体験的に理解するため、農産物
直売所や農産物加工所などの視察を行なって
います。最近では大分県日田市の「木の花ガル
テン」や「いいちこ日田蒸留所」を訪れました。
机上での専門的な勉強も大事ですが、実際

ナカムラの 知の源

Nakamura Source of knowledge

流通科学部
流通科学科
中川 隆
准教授



1. 中川ゼミでは、今年5月に大分県日田市にある「木の花ガルテン」や「いいちこ日田蒸留所」の視察を実施。地域農産物の販売実態やマーケティング戦略などを詳しく学びました。また日田市役所職員として地域発展に尽力するゼミOBと面談しました。
2. 世界最大のとうもろこし輸出国のアメリカへ行き、とうもろこし農家を視察した中川先生。ドローンを使ったスマート農業や遺伝子組み換え等について調査されたそうです。



1



2



に商品を見て、店の雰囲気を感じ、担当者から
地場農産物の販売実態や地域ブランド戦略を
聞くといった臨場感ある学びは、学生にとって
大きな糧になることでしょう。その中で地域の
持つ奥深い魅力に気づいてもいいと思います。

コロナ禍になる前は、毎年のように糸島市の
農村を訪れて、田植えや野菜の収穫体験も実
施していました。ようやく状況が落ち着いてき
たので、ぜひ、体験してもらいたいですね。高齢
の農家の方が多く、学生が手伝いに行くと本
当に喜ばれます。農家の方々と触れ合い、作付
けや収穫の達成感を味わい、地域の農業や食
を肌感覚で理解してほしいと思っています。

今後の抱負などについてお聞かせください。

コロナ禍で途絶えていた海外調査を再開し
たいですね。以前、日本の主な食料輸入相手
国であるオーストラリアやアメリカなどに赴
きましたが、両国への再訪も含め諸外国で見
聞を広めたいと思っています。

特に私の専門である食肉流通については、再
びオーストラリアに行き、牛の生産や解体の現
場でどういう安全管理をして日本へ輸出して
いるかなど、最新の動向を探りたいです。

国内ではこれまで行政との連携で近江牛
や能登牛など多くのブランド牛の調査も手
掛けてきました。コロナをあまり気にせず動け
るようになったので、推進していきたいです。

今、佐渡島、吉岐、石垣島など子牛生産が
盛んな離島の畜産に注目しています。各地域
での取り組みや工夫などをリサーチして、牛
肉の供給基地としての離島の重要性を追究
していきたいと考えています。



農業経済学の中でも畜産分野をメインに

時代のニーズに応える研究に取り組む中川隆准教授。

注力している研究テーマやゼミ活動、抱負などについていろいろ伺いました。

現場主義に徹しながら

食品流通の研究を進め

農業の持続や地域振興に貢献したい。

Profile

九州大学大学院生物資源環境科学府農業資源経済学専攻博士後期課程中途退学、博士
(農学)。別府大学国際経営学部にて助教、准教授を務めた後、2016年4月より現職。本学の
授業では、「経済学入門」「ミクロ経済学」「アグリビジネス」「食品流通論」等担当。食農資源
経済学会理事、地域デザイン学会九州・沖縄地域部会部会長、日本流通学会幹事など、学
会の役員も務めている。

令和4年度決算は、令和5年5月29日開催の理事会において承認され、評議員会に報告し、意見を伺いました。令和4年度は第8次中期総合計画（令和3年度から令和5年度）の2年目として、学園各学校在事業計画達成に向けて事業を行いました。その決算の概要は次のとおりです。

昨年度に引き続き、中村学園の5つの基金に対して、学園各学校の卒業生、学校教職員OB、事業部職員OB、中村学園会の多くの方から寄付金を賜り、基金の果実収入で学生・生徒・留学生への奨学金および大学教員への研究支援等目的に添って充当させていただきました。厚く感謝申し上げます。今後もさらなる学生の満足度を高めつつ教育研究の充実と財政の健全化に努めてまいりますので、皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

詳しくは学園のホームページをご参照ください。

令和4年度の資金の状況と、その年度に行った諸活動に伴う資金の動きを管理することを目的に作られた表です。

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入①	6,171,168	6,177,950	△ 6,782	人件費支出⑤	4,119,243	4,023,372	95,870
手数料収入②	136,019	133,848	2,170	教育研究経費支出	2,157,450	1,959,055	198,394
寄付金収入	26,621	34,806	△ 8,185	管理経費支出	616,853	570,111	46,741
補助金収入③	1,504,246	1,613,797	△ 109,551	借入金等利息支出	0	0	0
(国庫補助金収入)	(775,474)	(807,317)	(△ 31,843)	借入金等返済支出	0	0	0
(地方公共団体補助金収入)	(726,772)	(804,480)	(△ 77,708)	施設関係支出⑥	2,778,961	2,772,147	6,814
(学術研究振興資金収入)	(2,000)	(2,000)	(0)	設備関係支出⑦	314,523	291,357	23,165
資産売却収入	265,033	372,240	△ 107,207	資産運用支出⑧	723,493	1,184,528	△ 461,035
付随事業・収益事業収入	268,892	277,053	△ 8,161	その他の支出	430,904	444,494	△ 13,590
受取利息・配当金収入④	140,000	260,816	△ 120,816	[予備費]	19,641		19,641
雑収入	180,474	221,681	△ 41,207	資金支出調整勘定	△ 223,396	△ 274,823	51,427
借入金等収入	2,000,000	2,000,000	0				
前受金収入	1,140,737	1,193,309	△ 52,572				
その他の収入	713,535	223,552	489,982				
資金収入調整勘定	△ 1,325,944	△ 1,416,684	90,740				
前年度繰越支払資金	4,329,266	4,329,266	0	翌年度繰越支払資金	4,612,375	4,451,397	160,977
収入の部合計	15,550,047	15,421,639	128,407	支出の部合計	15,550,047	15,421,639	128,407

※千円単位で表示する際に千円未満を切り捨てているため合計などにおいて差異が生じる場合があります。

令和4年度の諸活動に伴うすべての収入・支出の内容を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」にわけ、学園の経営状況を示しています。

(単位:千円)

教育活動収支					特別収支						
区分	科 目	予 算	決 算	差 異	区分	科 目	予 算	決 算	差 異		
収入の部	学生生徒等納付金	6,171,168	6,177,950	△ 6,782	事業活動 収入の部	資産売却差額	17,991	17,991	0		
	手数料	136,019	133,848	2,170		その他の特別収入	96,094	106,321	△ 10,227		
	寄付金	26,621	35,127	△ 8,506		(現物寄付)	(6,704)	(16,931)	(△10,227)		
	(現物寄付)	(0)	(320)	(△320)		(施設設備補助金)	(89,390)	(89,390)	(0)		
	経常費等補助金	1,414,856	1,524,407	△ 109,551		特別収入計	114,085	124,312	△ 10,227		
	(国庫補助金)	(704,402)	(736,245)	(△31,843)		資産処分差額	30,498	24,688	5,809		
	(地方公共団体補助金)	(708,454)	(786,162)	(△77,708)		その他の特別支出	0	0	0		
	(学術研究振興資金)	(2,000)	(2,000)	(0)		特別支出計	30,498	24,688	5,809		
	付随事業収入	198,892	207,053	△ 8,161		特別収支差額	83,587	99,623	△ 16,036		
	雑収入	180,483	221,714	△ 41,231							
	教育活動収入計	8,128,039	8,300,101	△ 172,062							
支出の部	人件費	4,132,988	4,037,259	95,728	事業活動 支出の部	[予備費]	19,417		19,417		
	(退職給与引当金繰入額)	(126,875)	(126,690)	(184)		基本金組入前当年度収支差額	390,073	1,060,629	△ 670,556		
	教育研究経費	3,164,944	2,965,298	199,645		基本金組入額合計 ③	△ 1,024,128	△ 999,750	△ 24,377		
	(減価償却額) ④	(1,007,494)	(1,005,921)	(1,572)		当年度収支差額	△ 634,055	60,878	△ 694,933		
	管理経費	714,204	667,354	46,849		前年度繰越収支差額	△ 309,901	△ 309,900	0		
	(減価償却額) ④	(97,351)	(97,243)	(107)		基本金取崩額	867	1,095	△ 228		
	徴収不能額等	0	0	0		翌年度繰越収支差額	△ 943,089	△ 247,926	△ 695,162		
	教育活動支出計	8,012,136	7,669,912	342,223							
	教育活動収支差額	115,903	630,189	△ 514,286							
	教育活動外収支					[参考]					
	区分	科 目	予 算	決 算		差 異	事業活動収入計 ②	8,452,124	8,755,230	△ 303,106	
収入の部	受取利息・配当金	140,000	260,816	△ 120,816	事業活動支出計 ⑤	8,062,051	7,694,601	367,449			
	その他の教育活動外収入	70,000	70,000	0	※千円単位で表示する際に千円未満を切り捨てているため合計などにおいて差異が生じる場合があります						
	教育活動外収入計	210,000	330,816	△ 120,816	令和4年度決算の主なポイント						
支出の部	借入金等利息	0	0	0	大学院・大学・短期大学部 女子中学校・高等学校						
	その他の教育活動外支出	0	0	0	キャンパス南側隣地取得 体育館(メインアリーナ)改築工事						
	教育活動外支出計	0	0	0	2号館女子トイレ改修工事						
教育活動外収支差額					三陽中学校・高等学校 高校棟東側トイレ改修工事						
経常収支差額 ①											
</											

令和5年度予算は、令和5年3月15日開催の評議員会及び23日開催の理事会において承認されました。
その予算の概要は次のとおりです。

ますます学生生徒等の確保が厳しくなる中で、財政基盤の安定を図るために予算の適正かつ厳正な執行に努めてまいります。

令和5年度の資金の状況と、その年度に行う諸活動に伴う資金の動きを管理することを目的に作られた表です。

(単位:千円)

令和5年度資金収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

収入の部				支出の部			
科目	5年度予算	前年度予算	増減(△)	科目	5年度予算	前年度予算	増減(△)
学生生徒等納付金収入①	5,945,306	6,171,168	△ 225,862	人件費支出⑤	4,200,448	4,119,243	81,205
手数料収入②	126,875	136,019	△ 9,144	教育研究経費支出	1,925,922	2,157,450	△ 231,528
寄付金収入	4,000	26,621	△ 22,621	管理経費支出	645,146	616,574	28,572
補助金収入③	1,373,581	1,504,246	△ 130,665	借入金等利息支出	19,070	0	19,070
(国庫補助金収入)	(709,377)	(775,474)	(△66,097)	借入金等返済支出	0	0	0
(地方公共団体補助金収入)	(664,204)	(726,772)	(△62,568)	施設関係支出⑥	1,363,460	2,778,961	△ 1,415,501
(学術研究振興資金収入)	(0)	(2,000)	(△2,000)	設備関係支出⑦	506,683	314,443	192,240
資産売却収入	505,000	265,033	239,967	資産運用支出⑧	440,000	723,493	△ 283,493
付随事業・収益事業収入	170,238	268,892	△ 98,654	その他の支出	220,820	430,904	△ 210,084
受取利息・配当金収入④	140,000	140,000	0	[予備費]	20,000	20,000	0
雑収入	134,595	180,474	△ 45,879	資金支出調整勘定	△ 225,105	△ 223,396	△ 1,709
借入金等収入	0	2,000,000	△ 2,000,000				
前受金収入	1,109,315	1,140,737	△ 31,422				
その他の収入	503,063	713,535	△ 210,472				
資金収入調整勘定	△ 1,184,237	△ 1,325,944	141,707				
前年度繰越支払資金	4,612,375	4,329,266	283,109	翌年度繰越支払資金	4,323,667	4,612,375	△ 288,708
収入の部合計	13,440,111	15,550,047	△ 2,109,936	支出の部合計	13,440,111	15,550,047	△ 2,109,936

令和5年度の諸活動に伴うすべての収入・支出の内容を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」にわけ、学園の経営状況を示しています。

(単位:千円)

令和5年度事業活動収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

教育活動収支				
区分	科 目	5年度予算	前年度予算	増減(△)
収入の部	学生生徒等納付金	5,945,306	6,171,168	△ 225,862
	手数料	126,875	136,019	△ 9,144
	寄付金	4,000	26,621	△ 22,621
	経常費等補助金	1,355,150	1,414,856	△ 59,706
	(国庫補助金)	(695,302)	(704,402)	(△9,100)
	(地方公共団体補助金)	(659,848)	(708,454)	(△48,606)
	(学術研究振興資金)	(0)	(2,000)	(△2,000)
	付随事業収入	170,238	198,892	△ 28,654
	雑収入	134,595	180,483	△ 45,888
	教育活動収入計	7,736,164	8,128,039	△ 391,875
支出の部	人件費	4,240,164	4,132,988	107,176
	(退職給与引当金繰入額)	(92,066)	(126,786)	(△ 34,720)
	教育研究経費	3,001,652	3,164,944	△ 163,292
	(減価償却額)④	(1,075,730)	(1,007,494)	(68,236)
	管理経費	744,870	713,628	31,242
	(減価償却額)④	(99,724)	(97,054)	(2,670)
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	7,986,686	8,011,560	△ 24,874
	教育活動収支差額	△ 250,522	116,479	△ 367,001

教育活動外収支				
区分	科 目	5年度予算	前年度予算	増減(△)
収入の部	受取利息・配当金	140,000	140,000	0
	その他の教育活動外収入	0	70,000	△ 70,000
	教育活動外収入計	140,000	210,000	△ 70,000
支出の部	借入金等利息	19,070	0	19,070
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	19,070	0	19,070
	教育活動外収支差額	120,930	210,000	△ 89,070
経常収支差額①		△ 129,592	326,479	△ 456,071

特別収支				
区分	科 目	5年度予算	前年度予算	増減(△)
収入の部	資産売却差額	0	17,991	△ 17,991
	その他の特別収入	33,842	96,094	△ 62,252
	(現物寄付)	(15,411)	(6,704)	(8,707)
	(施設設備補助金)	(18,431)	(89,390)	(△70,959)
	特別収入計	33,842	114,085	△ 80,243
支出の部	資産処分差額	14,426	30,491	△ 16,065
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	14,426	30,491	△ 16,065
	特別収支差額	19,416	83,594	△ 64,178
	[予備費]	20,000	20,000	0
基本金組入前当年度収支差額		△ 130,176	390,073	△ 520,249
基本金組入額合計③		△ 1,644,078	△ 1,024,128	△ 619,950
当年度収支差額		△ 1,774,254	△ 634,055	△ 1,140,199
前年度繰越収支差額		△ 943,089	△ 309,901	△ 633,188
基本金取崩額		40	867	△ 827
翌年度繰越収支差額		△ 2,717,303	△ 943,089	△ 1,774,214

(参考)

事業活動収入計②	7,910,006	8,452,124	△ 542,118
事業活動支出計⑤	8,040,182	8,062,051	△ 21,869

令和5年度予算の主なポイント

大学院・大学・短期大学部

隣地取得
新館設計料
学内LAN機器更新

女子中学校・高等学校

体育館(メインアリーナ)改築工事
無線LAN機器更新

三陽中学校・高等学校

コンピュータ室空調機取替

用語解説

① 学生生徒等納付金収入

入学金、授業料や実験実習費、維持充実費などの学費。学園最大の収入源になります。

② 手数料収入

入学検定料を中心とした手数料による収入、各種証明書の発行手数料も含まれます。

③ 補助金収入

国庫補助金の「私立大学等経常費補助金」などで①に次ぐ収入源となります。

④ 受取利息・配当金収入

学園が保有する預貯金や債券の利息収入です。

⑤ 人件費支出

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員、学生アルバイトの給与および退職金などの支出です。

⑥ 施設関係支出

土地や建物などの固定資産取得のための支出です。

⑦ 設備関係支出

教育研究を目的とした機器備品や図書など固定資産取得のための支出です。

⑧ 資産運用支出

将来の固定資産取得のための積立金や特定事業目的のための引当資産などへの繰入額です。

① 経常収支差額

本業の教育活動と財務活動による経常的な収支バランスを表します。

② 事業活動収入

負債とらないすべての収入総額(学生生徒等納付金・手数料・寄付金・補助金など)のことです。

③ 基本金組入額

固定資産などの取得価格、将来の固定資産取得のための積立金、特定目的(奨学金、課外活動事業など)基金への積み増しにあてられた額です。

④ 減価償却額

建物、備品などの有形固定資産の劣化分を耐用年数(使用予定年数)に応じて計上するものです。

⑤ 事業活動支出

教育研究活動に伴うすべての支出総額のことです。人件費をはじめ教育研究経費、管理経費、借入金等利息などに加え、固定資産の減価償却額も含まれます。

TOPICS 03 最新ICTキッズセミナーを 開催しました

6月25日(日)、本学2号館にて、教育学部山本研究室による最新ICTキッズセミナーを開催しました。参加したのは大学近隣に住む小学生とその保護者です。今回のセミナーには、事前に60組以上の親子から申込があり、学習へのICT活用に対する興味・関心の高さがうかがえます。

今回のセミナーでは、これまでのセミナーで実施したドローン体験コース、お掃除ロボ体験コース、センサープログラミングコースのほか、新しく3Dプリンタコース、コンピュータボードコースも開設しました。それぞれのセミナーはコース別に実施し、ゼミ生が講師、サポーターとして入ります。

子どもたち同士は初対面がほとんどで、学年も異なりますが、同じテーマに向き合ううちに、自然とコミュニケーションをとり、協力する様子がみられました。試行錯誤しながら、どうプログラミングしたら思い通りに機器が動くかアイデアを出し合って考えていました。

判断に迷ったときは、「先生!」とゼミ生たちに積極的に質問する姿も。ゼミ生は、子どもたちの考えや、表現したいことを丁寧に聴き取ってアドバイスをしていました。

コースの最後には、子どもたち同士でプログラミングした内容を共有する時間を設けました。同じ体験コースでも、アウトプットは様々で、子どもたちは他の参加者のプログラミングした内容を興味深そうに見ていました。

セミナーを終えて、ゼミ生の一人は「思った以上に小学生のスキルが高くて驚いた。ひとりひとりに合った対応できるように指導の内容を工夫したい」と感想を述べていました。小学校教諭を目指すゼミ生たちにとって、ICT活用に関する教育実践の場となりました。



中村学園大学公式ホームページ
<https://www.nakamura-u.ac.jp/>

最新NEWSはHPにて!



TOPICS 01 名誉教授称号記授与式が 執り行われました

令和5年4月14日(金)、名誉教授称号記授与式が執り行われました。

名誉教授の称号は、長きにわたり本学の教育と学術の発展に寄与されたことが評価され、授与されるものです。

中村理事長より、令和5年3月に退任された阿部 志磨子先生(短期大学部食物栄養学科)、増田 隆先生(短期大学部幼児保育学科)に中村学園大学短期大学部名誉教授の称号が授与されました。



TOPICS 02 SDGs活動奨励金制度が 新設されました

本学では、学生のSDGs達成に向けた主体的な取り組みを支援するため、令和5年度より「SDGs活動奨励金制度」を新設しました。

申請し、審査を通過したグループには、活動費として上限10万円の奨励金が支給されます。

令和5年6月22日(木)、応募した学生たちによるプレゼンテーションが実施され、応募したグループはSDGsの掲げる17項目のうち、「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等を実現しよう」「つくる責任つかう責任」など、本学の学びに関連したキーワードを挙げ、熱意を持って取り組みを説明し、教職員からの意見やアドバイスを傾聴していました。

また、すでに自主的に取り組みを開始している応募者もいました。

発表した学生からは「先生たちの前で発表し緊張したけど、自分たちの目標を伝えることができた」「厳しくも温かい意見をたくさんいただいて、今後の活動のヒントになった」といった声が聞かれました。

厳正な審査の結果、以下の3件が採択され、これから活動が開始されます。正課以外で自ら考え行動を起こすことは学生自身の成長につながり、社会に出たときにも必ず役に立ちます。

この制度は「持続可能な社会」の実現にも寄与するだけでなく、学生の成長を支援することも目的としています。

(採択テーマ)

- ・おからで身体と環境の健康へ
- ・カンボジア北部のチョンカル村に公民館を!
- ・生理の貧困を救おうweek



TOPICS
05

「ハルさんカレー」 販売開始しました

中村学園創設者の中村ハル先生は、料理修行や研究で学んだ知識と技術を活かし、創意工夫と努力を重ねて、中村式カレーを作りました。

今回そのカレーを、当時のレシピを単に再現するのではなく、中村イズムを後世に伝えるべく現代風に食べやすいようアレンジしました。

具材には、みつせ鶏と国産野菜を使用し、数種類の本格スパイスをブレンド。旨味とコクに深みを出し、栄養と美味しさを両立させた中村オリジナルのカレーに仕上げており、厳選スパイスとゴロッとした具材に「これってレトルト？」と驚いていただけるはずです。

贈り物、お土産にいかがでしょうか。

<販売>カフェ&ベーカリー「アステックス」

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 中村学園大学キャンパス1号館1階

◆営業時間：8:00～17:00

◆営業日：月曜～金曜 土曜（第1・3・5）

◆定休日：土曜（第2・4）日曜 その他本学指定日

※販売は店頭販売のみです。電話での受付や発送は承っておりません。

※ネット販売等は現在行っておりません。



【ハルさんカレー】 価格 800円（税込）

TOPICS
06

夏のオープンキャンパスを 開催しました

8月5日（土）、6日（日）に夏のオープンキャンパスを開催しました。

在学生スタッフが、各地からお越しいただいた高校生と保護者の皆様をお迎えしました。

それぞれの学科の学びを紹介する「模擬授業」のほか、各学科オリジナルの掲示・展示物を準備した「展示コーナー」、学生のリアルな声が聴ける「学生フリートーク」など、さまざまなプログラムを通して、本学での学びや学生生活を紹介しました。

そのほか入試説明会や各種相談コーナー、サークル紹介や食育館での学食体験などで、本学の受験から入学後まで、理解を深めていただけたのではないかと思います。

ご参加いただいた皆様、ご来場誠にありがとうございました。皆様とまた中村学園大学でお会いできることを楽しみにしています！



TOPICS
04

学生対象食育講座 「はじめてのヴィーガン食」

6月26日（月）、食育推進委員会主催の学生対象食育講座が開催されました。

今年度のテーマは、「はじめてのヴィーガン食」です。はじめに食物栄養学科の吉田弘子先生から、ヴィーガンについての解説がありました。

ヴィーガンとベジタリアン、ベジタリアンの名前の由来、ベジタリアン・ヴィーガンの背景や世界の人口に対する割合などが紹介されました。ヴィーガンとは、卵・乳製品・はちみつなどを含む動物性食品を一切口にしない「完全菜食」のベジタリアンです。ベジタリアン・ヴィーガンの背景には宗教によるもの、動物愛護や環境保護によるものなどがあり、健康増進などの観点からヴィーガンを実践する人もいます。また、栄養不足にならないよう、主食をしっかり摂り、雑穀、発酵食品、海藻類、海の塩、梅酢などを料理に活かすことが大事だと説明されました。

続いて、吉田先生によるヴィーガン食の実演が行われました。この日のメニューは、ヴィーガン食を実践されている方々の食事内容で構成されており、下記のとおりでした。

- ・二色のそばろごはん
- ・高野豆腐と青菜の炒め物
- ・ヒジキのマリネとレタスのサラダ
- ・キャベツとヒエのつぶつぶスープ
- ・つぶブルクリーム



うちアワを鶏そばろに見立てて煮たり、リンゴジュースで甘味の味付けを行うなど、ヴィーガン食ならではの調理法が随所に見られました。

試食では学生から色々な感想がありがとうございました。

「鶏のそばろと言われてもわからないくらいおいしい」

「肉や魚がなくても物足りなさは感じない」

「動脈硬化や歯の弱い患者さんにも適していると思う」

食の世界を志す学生だけでなく、受講した全ての学生にとって、体験的にヴィーガンについて学べる貴重な機会となりました。



教職員の
出版物Faculty and staff
publications

1

1 三訂 食品衛生学実験 [第2版]

川野 光興 栄養科学科 准教授 共著
(2023年4月 建帛社)

2

2 情報端末持ち帰り:
GIGAスクールはじめて日記3山本 朋弘 児童幼児教育学科 教授 編著
(2023年3月 さくら社)中村学園
採用情報ナカムラで
働きませんか大学短大・併設中
高・付属幼稚園等の
採用情報を掲載して
おります。

詳しくはこちら



受賞

熊原 秀晃 教授がThe Best
Reviewer Award2022を受賞しました

2023年4月、栄養科学部栄養科学科 熊原 秀晃教授が、一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会において「The Best Reviewer Award2022」を受賞しました。同学会では、「日本サルコペニア・フレイル学会誌」に投稿された論文の査読について、特に貢献度が高い査読者1名を選出し表彰しています。今回、2022年度中に査読に協力した査読者の中から受賞者が決定しました。



受賞

田辺 賢一 准教授が「日本栄養・
食糧学会 奨励賞」を受賞しました

2023年5月、栄養科学部栄養科学科 田辺賢一准教授が「日本栄養・食糧学会 奨励賞」を受賞しました。

日本栄養・食糧学会は、栄養学ならびに食糧科学の進歩をはかり、国民栄養の向上に寄与することを目的に、1947年に設立され、現在は全国で約4,000人の会員が所属する学会です。

この表彰では、当学会会員において、栄養および食糧に関する研究分野で顕著な功績のあった研究者に対してその業績が顕彰されます。

田辺准教授は、「難消化性オリゴ糖の生体利用性ならびに生体調節機能に関する研究」で、栄養科学、食糧科学において将来性のある業績と高く評価され、今回の受賞となりました。



令和5年度 | 第50回

公開講座

受講料
無料!【テーマ】
食を究める

本学の公開講座は

おかげさまで50回を迎えました。

50回を記念し、「オンライン5講座」と
「対面2講座」を開催します。

オンライン講座

申込&公開期間

2023年10月16日(月)~2024年2月29日(木)

上記期間内に本学ホームページからお申し込みください。

講座名	講師
人生100年時代を健やかに生きるー健康長寿を目指した食生活ー	栄養科学部 栄養科学科 近江 雅代
あなたの身体は、あなたの食べたものでできています	栄養科学部 フード・マネジメント学科 竹嶋 美夏子
子どもの口づくり	教育学部 児童幼児教育学科 新井 しのぶ
身体にやさしい食事のすすめ	短期大学部 食物栄養学科 吉田 弘子
「アグリテック」が描く未来と事例、課題	短期大学部 キャリア開発学科 中川 敬基

対面講座

申込受付開始日

2023年10月16日(月)~(定員になり次第メ切)

10月16日以降に本学ホームページからお申し込みください。

開催日

2023年12月2日(土)

会場

本学

講座名	講師
フードツーリズムの世界ー食と人が創り出す忘れられない旅ー	流通科学部 流通科学科 前嶋 了二
「食べる」の発達ーいつまでも美味しく食べるためにー	短期大学部 幼児保育学科 山下 雅佳実

講座内容等の詳細につきましては本学ホームページをご覧ください。

中村学園大学 公開講座

検索

または

QRコードからアクセス



お問い合わせ

中村学園大学・中村学園大学短期大学部

連携推進部「公開講座」係 TEL092-851-5579

ナカムラのひと

経験値をあげながら
スキルアップに励んでいる
人たちをご紹介します!

今回は

食物栄養学科
2年生の人たち

前列左から、新開拓海さん、横山崇史さん、田中風香さん、杉本華さん、草場結衣さん 後列左から平田咲朗さん、中和陽向さん、森脇千夏教授

実践と挑戦の場「4号館食堂」

今年4月、食物栄養学科の2年生が、本学4号館1階で学内外の人にランチを提供する食堂をスタートさせました。コロナ禍で大量調理の実習に制限が出たのを機に、実践の体験を増やそうと発案されたものです。「給食管理実習(校内)」の一環で、80人の学生が十数人の班に分かれ、交代で調理から接客、片付け、お金の管理まで行っています。提供するの「野菜200g以上、塩分は2.5g未満」のヘルシーランチ(500円)、1日限定120食。食材の一部をJAや自治体等から提供を受けるなど、地域や企業との連携強化も進んでいます。後学期からは学生が献立作成や食材の発注にも挑戦し、食堂の運営を通して幅広く実践力を磨きます。



メニューは「体の調子を整える」がコンセプトで一汁三菜。お米は栄養価の高い金芽米(九州大学農場米)を使用しています。



生ごみはコンポストで堆肥にして、学内の農園での野菜作りに使っています。

学食運営に取り組んでの感想を聞きました。



新開 拓海 さん

チームの一員としてベストを

大量調理は一人ひとりがやるべきことが多いので、周りに目を配りながら自分は次に何をしたらいいかを考えます。チームワークを意識して動けるようになったと感じます。



田中 風香 さん

リーダーを担う中で自分に自信

料理の味つけや作業の段取りなどをみんなにうまく伝えられるようになり、人前で話すことが苦手だったのを克服できました。リーダーを経験して自分に自信が付きました。



中和 陽向 さん

みんなで120食を作り上げる達成感

他の調理実習の授業で作るのは、班の人数分の3〜4食。仲間と共に120食を完成させる達成感は大きいです。学内外のお客様に美味しいと言われるのがやりにがらいいなっています。



杉本 華 さん

後学期の献立作りも頑張りたい

最初は工程表通りに作業を終わらせるのに手間取りましたが、経験を重ねるうちにスキルが身に付きスムーズにこなせるように。後学期の献立作りも頑張りたいです。



横山 崇史 さん

卒業後の計画にもプラスに

卒業後は留学するか調理専門学校に行ってさらに勉強したいと考えています。その準備としても、学食運営で大量調理や接客、お金の管理などを学べるのは有意義です。



草場 結衣 さん

コミュニケーション力がアップ

大量調理の中で調理技術はもちろん、コミュニケーション力を磨けたのが良かったと感じています。保育園の栄養士を目指し、さらに実践力を付けていきたいです。

食物栄養学科
森脇 千夏 教授



私がナカムラに在学していた頃、実は学生がメインの学食を運営していました。仲間と共に大量調理に励んだことは、私の大学生活で一番の思い出です。その経験を踏まえ、学生に得難い体験をして濃い2年間にしてほしい思いもあり、4号館食堂の発案に至りました。実践を積み重ねる学生にめざましい成長を感じています。

栄養を学ぶ

4年で学ぶ

栄養科学部 栄養科学科

栄養科学部 フード・マネジメント学科

2年で学ぶ

短期大学部 食物栄養学科

教育を学ぶ

4年で学ぶ

教育学部 児童幼児教育学科

2年で学ぶ

短期大学部 幼児保育学科

ビジネスを学ぶ

4年で学ぶ

流通科学部 流通科学科

2年で学ぶ

短期大学部 キャリア開発学科

入試情報・最新のイベント情報は
受験生サイトをご確認ください。

受験生
サイト▶



[編集] 中村学園大学・中村学園大学短期大学部 入試広報部
[発行日] 令和5年8月31日
〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL 092-851-2531
[ホームページ] <https://www.nakamura-u.ac.jp/>

公式ホームページ



公式facebook



ナカムのひと
中面をチェック!